

1兆2千274億円増の20兆1千848億円が計上されております。

令和8年度予算編成については、これまでと同様、第6次福島町総合計画の着実な事業推進を図るとともに、さまざまな町政課題に的確に対応する予算計上に努めております。

燃料費および物価高騰などにより経常経費が増加傾向にある中、各会計において歳出予算の抑制については大変厳しい状況にありますが、限られた財源のもと財政健全化を念頭に置きながら、第6次福島町総合計画のまちづくりの目標実現に向けた施策や事業を計上したところであります。

歳入の町税においては、個人町民税および固定資産税の増により4.2%増の5億1千345万5千円を計上しております。

また、主要な財源である普通交付税については、地方財政計画や前年度実績などを考慮し、当初予算では9.9%増の21億5千600万円を計上しております。

歳出については、定住促進、子育て支援および脱炭素社会の実現に向けた2棟目となる若者・子育て向けの定住住宅整備のほか、防災機能の強化につながる役場庁舎設備改修および吉岡地区防災広場整備に係る実施設計業務などの実施、町の基盤整備として各地区における町道などを整備してまいります。

各会計の歳入歳出予算額

一般会計	45億5,468万8千円
国民健康保険特別会計	6億9,117万7千円
介護保険特別会計	5億3,010万9千円
うち保険事業勘定	5億2,847万円
サービス事業勘定	163万9千円
後期高齢者医療特別会計	1億460万8千円
町立診療所特別会計	1億2,714万8千円
水道事業会計	1億8,885万3千円
浄化槽事業会計	8,027万9千円
計	62億7,686万2千円

V むすび

以上、令和8年度の町政執行に臨むにあたり、私の所信を申し上げます。

今年度は、合併70周年の節目の年を終え、新たな1年がスタートとなり、次の時代につなぐ大切な年でもあります。

町を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、このような困難な時代だからこそ、私たちが本来持っている、自分でできること、お互いに助け合うことなど、自助・共助・公助が重要となります。今、この時代だからこそ、皆で、そして地域全体が助け合い支えあいながら“まち”を共に創る「共生社会の実現」が求められております。

私は町長就任以来、常に心に刻んでいる思い、そして町政に向き合う姿勢として、町民の思いに寄り添い、真摯で思いやりのある行政を目指してきたところであります。

私は、町の最高規範である「まちづくり基本条例」の基本理念を尊重し、まちづくりの主体である町民の声に耳を傾け、町民からまちづくりの仕事を託された議会と行政がしっかりと議論し、「協働によるまちづくり」の実現に努めてまいります。

私は、町民と行政の相互の信頼関係が、政を進めていくうえでの基本と捉えており、引き続き、福島町で暮らす町民一人ひとりが笑顔で過ごせるよう、他人を思いやる心をもって、新たな1年を町民の皆さまと共に、本方針に掲げた政策の実現を目指してまいります。

これまで、町民並びに町議会議員の皆さまからさまざまな機会を通じて、いただいた多くの意見や提言に、真摯に耳を傾け、町民の皆さまの思いに誠実に向き合い、町民の思いに寄り添った政策の実現に向けて、職員一丸となってさらなる町政の推進に邁進する所存であります。

最後に、町民の皆さまの深いご理解とご協力並びに町議会議員の皆さまのご指導とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます、町政執行方針とさせていただきます。

